

# ダイケン オトカベF-1

### 「施工業者様へのお願い」

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず本書をお施主様に手渡ししていただきますようお願いいたします。

※施工取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/pro/download/manual/>よりダウンロードも可能です。



## 警告表示の種類と内容



### 注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容



してはいけない内容です

- 本製品は内装壁材です。屋外には使用できません。
- 屋内であっても水のかかる場所、湿度の高い場所への使用はしないでください。
- 体育館などでボール等による衝撃が加わる部位には使用しないでください。

### ⚠ 注意 【使用上の注意】

- 使用環境等によっては製品特有の臭いを感じることがあります。窓を開けるなどして十分な換気を行ってください。
- 施工された部屋は、気密性が高くなりますので法令に定められた換気量を満足する換気扇を必ず設置してください。
- 吸音性能を発揮させるため基材にグラスウールを使用しております。そのため弱い衝撃でも表面にシワやへこみが生じるおそれがあります。壁に衝撃が加わる可能性が高い場合は、腰壁等を併用することをお勧めします。
- 表面のガラスクロスは製造ロットにより若干の色違いが発生することがあります。
- 表面のガラスクロスは摩擦などにより色落ち・色移りすることがあります。
- 直射日光が長時間あたる場所に設置した場合、表面のガラスクロスが変色するおそれがあります。カーテンやブラインドなどで日よけをしてください。
- 施工された室内の通気によってはクロス表面が汚れることがあります。

### ⚠ 注意 【施工上の注意】

- 本製品を天井に施工しないでください。
- 製品を切断する場合は、カッターナイフ等の手動工具を使用し、グラスウールの粉じんが飛散しないように注意してください。
- 本製品は接着剤で石膏ボード（捨張材）に接着します。接着が十分になされていないと本製品が壁から脱落するおそれがあります。施工説明書の内容に従い、適正な施工を行ってください。
- 基材（グラスウール）の特性上、柔らかい製品です。持ち運ぶ時は、必ず立てて持ってください。水平にすると製品が折れるおそれがあります。また、施工時は2人で作業を行ってください。
- 表面はガラスクロス仕上げになっています。裏面に塗布する接着剤等がガラスクロスに付着すると取れないことがあります。施工中は接着剤等がガラスクロスに着かないように手袋等をするなどして十分にご注意ください。
- 製品を重ねる場合は、表面のガラスクロス同士、裏面のグラスウール同士を合わせるようにしてください。
- 施工の時は、製品裏面の矢印の方向を同じにしてください。
- 直射日光に当てたり、投光器などの熱源を近づけないでください。また、高温多湿での積み置きは避けてください。水濡れは厳禁です。グラスウールや表面のガラスクロス、接着剤が劣化するおそれがあります。

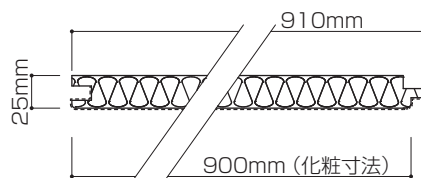
- 製品を破棄する際は、法律および自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

### ■製品仕様

- ・サイズ：厚25mm 幅910mm×長さ3,000mm  
(化粧寸法幅900mm×長さ3,000mm)
- ・縁加工：長辺本実加工（クロス巻き込み）、短辺切り放し
- ・梱包・入数：ダンボールケース4枚入り
- ・重量：約8kg/枚
- ・基材：グラスウール（96kg品）
- ・表面：ガラスクロス
- ・各種認定：国土交通大臣認定不燃材料 NM-8610
- ・ホルムアルデヒド規制：F☆☆☆☆ JIS A9504

### ■製品図面

点線部は表面化粧（ガラスクロス面）

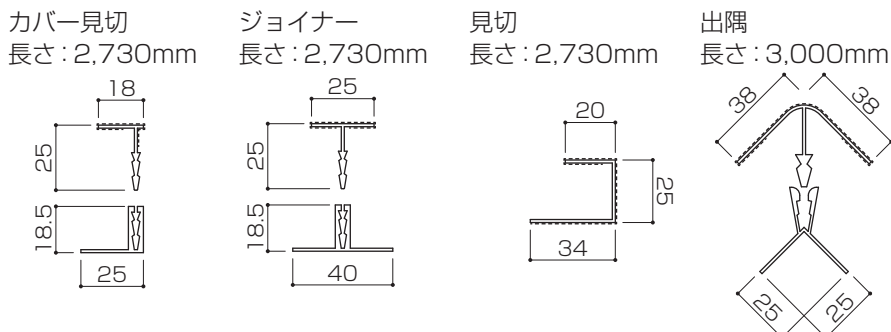


### ■専用施工部材

<カバー見切、ジョイナー、見切、出隅>

- ・基材：塩ビ樹脂
- ・サイズ：右図参照
- ・表面：ガラスクロス巻き  
(製品と同一クロス)
- ・梱包・入数：<カバー見切>2本入り  
<ジョイナー>2本入り  
<見切>2本入り  
<出隅>1本入り

### ■部材断面図（単位：mm） 点線部はクロス化粧面を示します。



# 施工説明書

## ■必要工具

施工の際は以下の材料等をご用意ください。

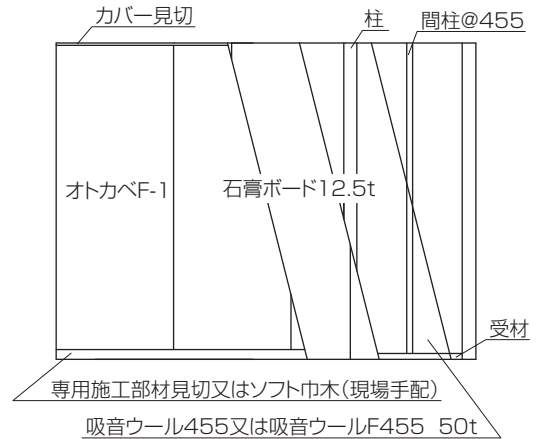
材料等	規格他	使用箇所
接着剤（現場手配）	酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン接着剤	製品裏面に格子状に塗布。 下記「■接着剤塗布」の項目を参照。 500～600g/m <sup>2</sup> （1.4～1.6kg/枚）
カッターナイフ（現場準備）	—	製品のカット

## 施工の手順

### 【木下地の場合】

#### ■下地

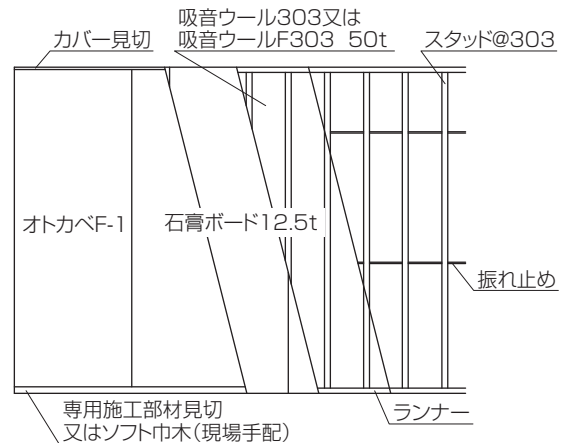
- 柱、間柱は455mmピッチとし、下地に必ず石膏ボード（厚12.5mm以上）を施工してください。
- 下地となる石膏ボード横目地、入隅部、開口部四周にも下地があるように、あらかじめ受材（胴縁）を取り付けてください。
- 納め部材（カバー見切、ジョイナー、見切、出隅）を取り付ける部分にも受材（胴縁）を入れてください。納め部材はビスで取り付けます。
- 石膏ボードを取り付けたビス頭が石膏ボード面から飛び出ないようにしてください。飛び出したままオトカベF-1を施工すると接着不良が発生するおそれがあります。



### 【軽鉄下地の場合】

#### ■下地

- スタッドを300mm以下のピッチで施工します。下地に必ず石膏ボード（厚12.5mm以上）を施工してください。
- 下地となる石膏ボード横目地、入隅部、開口部四周にも下地があるように、あらかじめスタッドを取り付けてください。
- 納め部材（カバー見切、ジョイナー、見切、出隅）を取り付ける部分にも受材（胴縁）を入れてください。納め部材はビスで取り付けます。
- 石膏ボードを取り付けたビス頭が石膏ボード面から飛び出ないようにしてください。飛び出したままオトカベF-1を施工すると接着不良が発生するおそれがあります。



## 以下は木下地、軽鉄下地共通です。

#### ■割付け

- オトカベF-1の寸法（化粧寸法幅900mm×長さ3,000mm）にあわせて墨出しを行って割付をしてください。

#### ■切断

- 製品をカットする場合はグラスウールの粉塵飛散防止のため必ずカッターを用い、定規を併用してください。

#### ■接着剤塗布

- 市販の酢酸ビニル樹脂系エマルジョン接着剤をご使用ください。定規を併用してください。
- くし目のあるへらを使用し、オトカベF-1の裏面（グラスウール面）の周辺及び縦横に塗布してください。周辺部や継ぎ目部分は接着剤がにじみ出ない程度に塗布します。
- 裏面に塗布した接着剤がクロス表面に付着しないよう十分に注意してください。
- 接着剤の塗布ピッチは右図を参照し、約450×300mmピッチに塗布します。塗布幅は100～150mmにしてください。塗布量は500～600g/m<sup>2</sup>（1.4～1.6kg/枚）です。

#### ■オトカベF-1取付

- 製品裏面（グラスウール面）に矢印が印字されています。施工する際は、矢印を同じ向きにしてください。（右図参照）
- 接着剤を塗布したオトカベF-1を墨出しの線に併せて石膏ボード面に圧着します。2枚以降も同様にオトカベF-1を取付します。1枚目の雌実にて2枚目の雄実を吻合させます。

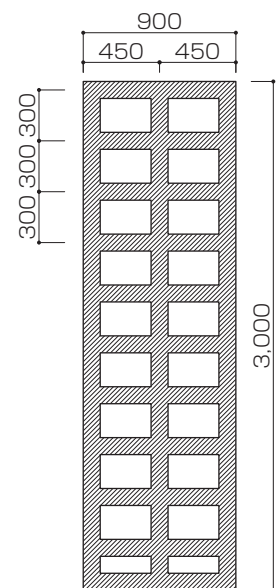
#### ■圧着

- 貼り終えたオトカベF-1を表面から手のひらで圧着します。このとき表面のガラスクロスを汚さないようきれいな手袋等着用してください。

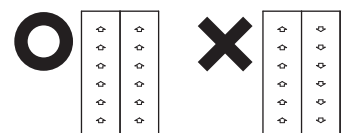
#### ■再圧着

- 貼り終えてから20～30分後に、接着を確実にするため、表面から手のひらで押再圧着してください。

接着剤塗布位置（斜線部）単位はmm



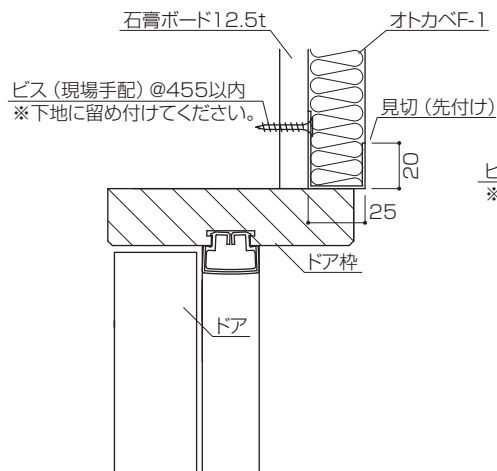
施工の向きについて



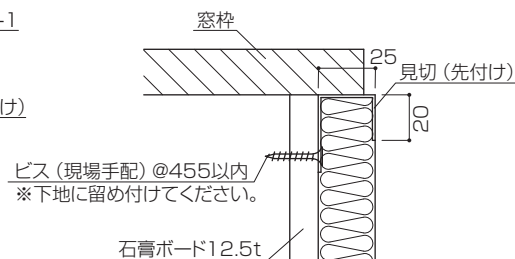
# 施工説明書

## ■施工、納まり例（単位はmm）

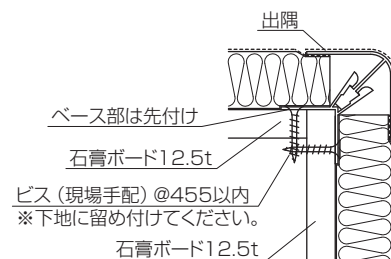
### ドア枠の納まり



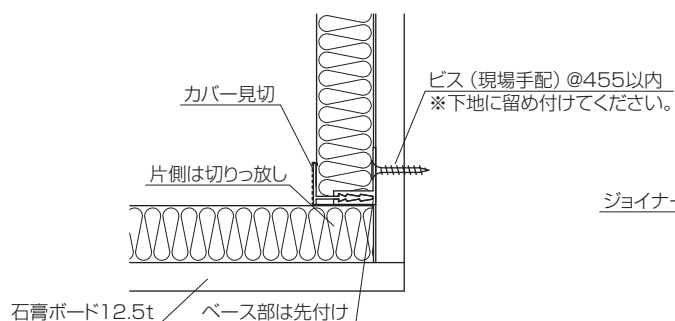
### 窓枠の納まり



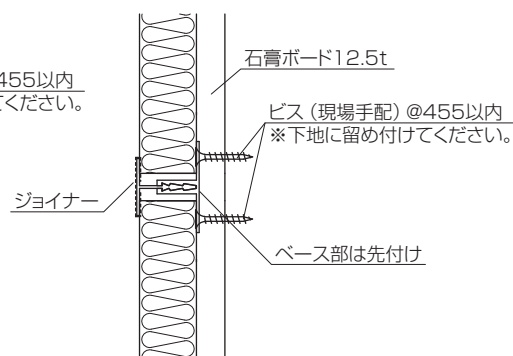
### 出隅



### 入隅の納まり

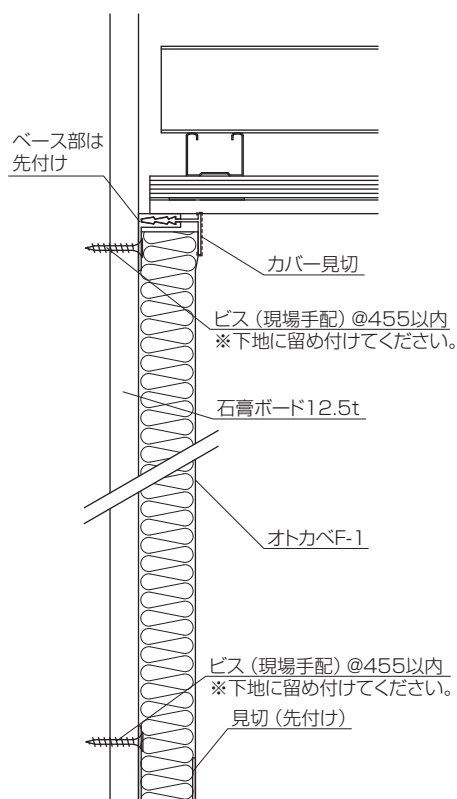


### 壁を継ぐ場合



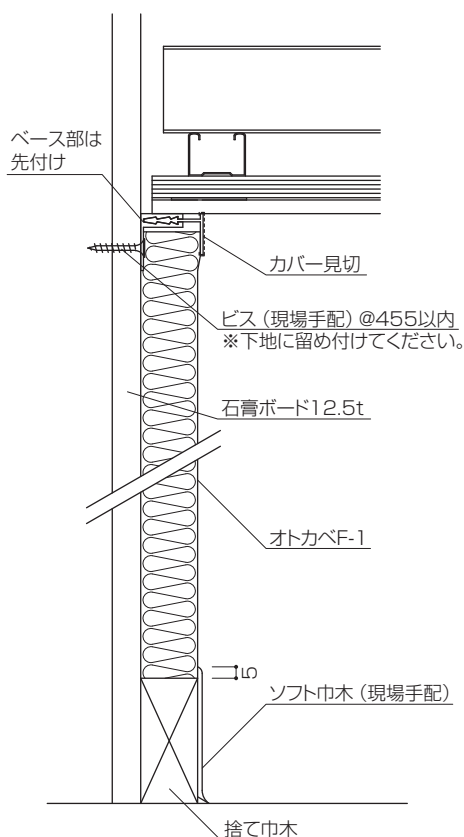
### 天井-床の納まり①

※床に見切（専用施工部材）使用時

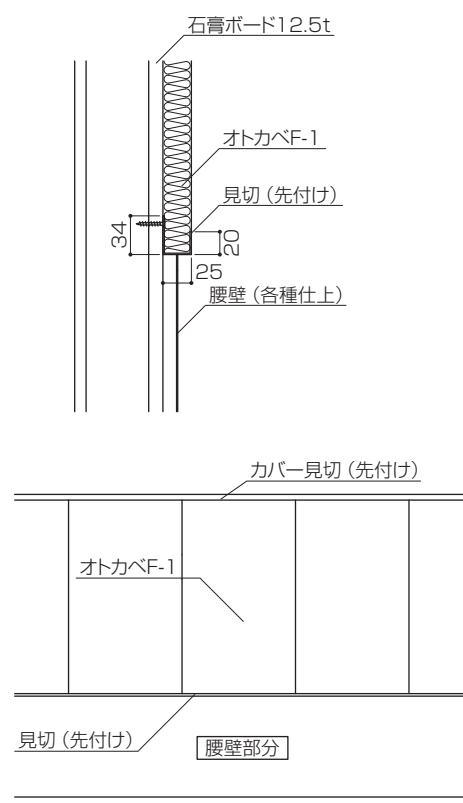


### 天井-床の納まり②

※床にソフト巾木（現場手配）使用時



### 腰壁併用時の納まり



# 取扱説明書

## 日常のお手入れ

- 表面のガラスクロスが汚れた場合、絶対にこすらないでください。こするとガラス繊維の中に汚れが入り込みます。またこすると色落ちや色はげすることがあります。
  - お手入れは次の方法でおこなってください。
    - ・ほこりや粉じんは粘着テープで軽くたたいて除去するか、化学雑巾でほこりを払う程度にしてください。
    - ・表面の汚れは希釈した中性洗剤を布等にしみ込ませよく絞った後に軽くたたいてください。
- ※吸音性能を発揮させるため基材にグラスウールを使用しております。グラスウールは柔らかいため、弱い衝撃でも表面にシワやへこみが生じるおそれがあります。
- ※通常の使用下では問題ありませんが表面のガラスクロスが破れた場合、基材のグラスウールが室内に飛散する可能性があるためただちに使用をおやめください。張替えをご検討ください。

## 製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。保証期間経過後の修理については有料となります。

### ■対象製品

オトカベ-F1

### ■保証事項

弊社指定の施工場所に施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間表参照）を無料で修理します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

### ■保証期間

弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間表参照）保証期間経過後の修理については、有料となります。

### ■免責事項

製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（注1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ、またはその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者、または第三者の不適切な使用、または維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

注1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

### ■保証期間表

対象製品	保証事項		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合自称	起算時期*2	
オトカベ-F1	外観上の著しい*1変形・変質が生じないこと 基材・表面	変形・変質（反り、ハガレ、中層ハクリ）	完了後	2年

※1：「著しい」の定義 正常な施工・使用状態のもとで、経過時間を考慮し客観的にみて、通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2：保証期間起算時期について 保証期間は「当該製品施工完了後」から起算します。

## 製品に関するご相談は

### お客様センター

**0120-787-505**

受付時間：平日9:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。）

総合カタログに掲載していない製品は、ご提案のあった工事店様や販売店様を通じて、弊社営業窓口にお問い合わせください。

よくあるご質問、施工・取扱説明書情報、カタログのご請求・閲覧などはお客様サポートからもご確認いただけます。

DAIKEN お客様サポート

検索

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで写真も送ることができます。



## 防音・音響仕様のお問合せは

### サウンドセンター

東京 (03)6271-7785 大阪 (06)6205-7245

受付時間：平日10:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・夏期休暇は休みとなります。）

## 大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

240621-ON-K017